

そもそもお金ってどこで作られるんだろう？

誰しも「もっとお金が欲しい！」って思うもの。そんなお金はどこで作ってるんだろう？お金は次のところで作られているよ。

紙幣(お札)→日本銀行

貨幣(硬貨)→政府の独立行政法人"造幣局"

ここできつとみんなから出る素朴な質問。

「たくさんお金作りまくったらみんなお金持ちになるんじゃない？」

答えは、、、**なりません！**(>ω<)

最初に話したように経済はみんなで「仕事」を分担したものの。たくさん発行して流通するお金の量を増やして、1万円札が1円玉みたいにそこら辺に落ちてるようになったら、、、**ㄹ(̄ε̄)ㄿ**
みんなきつとこう言うよ。

「1万円？そんなお金じゃ仕事できませんよ(笑)」

そう、お金の量を増やしすぎると仕事、つまり物価が上がってしまうんだ。これをインフレと言ったね。かつてドイツでは戦争に負けてお金の価値が下がりまくってしまい、たくさん紙幣を発行した。そしたらパン一個の値段が250マルクから、、、

4000億マルクに上がってしまった(「口」;)

右の写真を見て欲しい。もうやけくそになってお金の遊んじゃってる(笑)
お金の増えすぎるとその価値が減り、物価が上がってしまうということを覚えていこう。だからそうならないように日本銀行は流通する紙幣の量を調整しているよ。これを**金融政策**という。

